

## がんばれ!! ふれんず!!

家族会員 川原 富子

社会福祉法人”ふれんず”小規模通所授産施設ひかり作業所の誕生誠におめでとうございます。正直な所こんなに早期に法人認可が実現しようとは想像もつきませんでした。平成6年の初冬、阿賀駅裏の小さなアパートの一室から、6名のメンバーさんと家族有志3名でスタートしたひかり作業所も実績を積むことのみ専念しながら、細々とアットホーム的な雰囲気の中で頑張ったことなど思い出します。感無量の思いがいたします。当時、呉市内で精神障害者の通う無認可作業所（若椿作業所）が広管内にひとつあるだけで利用者も増加し手狭になったこともあって、西管内にもう一ヶ所作業所をと機運も高まり一部のメンバーのIさんや家族の思いもあって場所探しから始まりました。情報収集や電話での問い合わせなど色々にあたってみました。が、埒があかず不動産屋めぐりをすることに。アパートの場所探しも容易ではありません。結局、精神障害者と言うだけであっさり断られて、3軒目の扉を開ける勇気もありませんでした。縁あって、当事者がアパートに入居している事から、精神障害者に対する理解もあった大家さんとの出会いも持てて、とても運が良かったと安堵したものです。入居者のIさんの病状なども熟知されていて、1階の室をお借りする事になり、翌日から手弁当で大掃除。電球1個から整えていきました。多勢の方達の暖かい援助の中から生まれたひかり作業所いや”ふれんず”に暖かい援助のほほえみが注がれることを心よりお祈りしています。

がんばれ!!ふれんず!!

## 振り返れば…

家族会員・元保護者代表

奥川 忠

1994年（平成4年）12月ひかり作業所は若椿作業所及び椿会（家族会）のご厚意により、阿賀駅の海岸よりの質素な借家の一室において、その産声をあげた。それまでの経過としては、若椿作業所のメンバーが過密状態にあることは、かねてから呉精神障害者家族会である前述の椿会で話題にはなっていた。しかし、これほど、早く実現するとは皆、夢にも思っていなかったのではないだろうか。それには、現在の保健所の庶務課長の近藤氏が当時東保健所の予防課長としてご尽力くださり、また、当時の若椿精神障害者無認可作業所の土手主任指導員のご努力があったことは言うをまたない。しかし、当時新設されるひかり作業所に指導員を雇うだけの資金はないのは勿論のこと、実績のあがるまでの6ヶ月間は一円の資金もないので家族がとりあえず立て替えて支払う以外になかったのである。上述したように指導員を雇う資金はないわけであるから、そのかわり家族が指導員のかわりをせざるを得なかったわけである。責任者の主任として川原さんのお母さんが就任された。何もないところから出発するのであるから、資金的な問題だけでなく労力もすべて提出しなければならず、残業があれば休日でも川原さんは一人で出勤されて仕事をされるといふ、全く頭の下がる状態だった。その川原さん以外に大越当時の椿会会長が、毎日のように、焼山から来てくださるだけでなく、毎日のように、おかずを作って持ってきて皆がいただいたものである。それ以外に吉川さんのお母さんも来ていただき、何とか作業所の体裁をととのえつつあった。最初はいかの申さしだけの仕事だったが、松浦さんは仕事のとりまとめ、部谷さんはおもしろいことを言ってくれたりして、本当になごやかな雰囲気であった。安っぽい機械に流れる「時代」の曲は今でも思い出される。便所は水洗でないので作業所の中までにおいがしみわたるようだった。又、休憩室もなく作業台と椅子でいっぱい横になろうとすると椅子の下で横になるしかない位せまかった。ところが先の山本課長さんのお世話で、若宮さんという現指導員さんを迎えたことはひかり作業所の運命を左右したといってもいいほど画期的なよき人を得たものだった。そのうちに、山本課長他のご厚意により元海員会館の一室にひかり作業所は移転することができたわけである。ひかり作業所が阿賀にあった時の思い出として象徴的なものがある。作業所のリクリエーションとして、メンバー・指導員・家族が一緒に安芸の小須磨でバーベキューを作って食べたことがある。その時に、先述の山本課長さんに来ていただき、一緒に楽しく過ごしたことがある。彼はわざわざ保健所の方では休暇をとって来て下さったと聞いている。これは現在鳥取県全体として、メンバー・家族と保健所の三者の交流をやっていると聞いているが、これの作業所用のミニ版といえるのではないかと思われる。

## さらなる一歩を

呉市手をつなぐ育成会 事務局長 渡辺 徹子

法人化おめでとうございます。春爛漫の香りの中で心ときめく報に接し、心からお祝い申し上げます。時を同じくして、誰もが社会の中で当たり前の生活ができるようにという理想を掲げての支援費制度が始まりました。この制度が真の福祉の向上となり、誰もが幸せに暮らせる優しい呉地区になることを願っています。そのために、それぞれが出来る事から動いていかなければなりません。社会福祉法人「ふれんず」の誕生は明るい兆しです。この兆しがきらきらと輝く初夏の青葉のように成長していくことを心から願ってやみません。

## ボランティアを考える

ボランティア2年生 船本 安光

一昨年十月、初めてひかり作業所を訪れ、皆さんから明るいあいさつで迎えられて、はや、一年半が過ぎようとしている。一週間に一度の割合でしか作業にこられないので、なかなか皆さんの顔が覚えられなかったが、近頃何とか仲間に入れたような気がしている。つい、先月のこと、ボランティア活動についての研修会に出席してみて感じたことがあった。それは、ボランティアについての自分の考え方である。「自分はボランティア活動という名のもとに何をしているんだろう。」「わずか一週間に一度の作業の手伝いで自分が満足しているだけではないのか。」「これがボランティア活動になるのだろうか。」「本当に誰かのために少しでも役立っているのだろうか。」など…。次々と自問自答している自分があった。でも、作業所で皆と一緒に作業しながら、皆の話を聞いたりすることは楽しいし、時には、何か自分の経験や思いを話していることもある。また、人としての生き方について話し合っている場面もあった。話しの中で、私自身が回りの人から生き方について教えられることもたくさんあった。ボランティアについての自分の考えは少しもまとまらないが、「なんとか自分が健康で、あと何年でも続けられるといいな」と思っている今日このごろである。また、法人化されたひかり作業所がこれからますます発展し、通所者皆が安心して生活できるようになり、障害者理解が広く市民にいきわたることを願っている。

ひかりのなかで…



ひかり作業所  
**9年のあゆみ**

# 1994

## 平成6年

- 1994 6 ・作業所開設に向けて呉地域家族会「つばき会」と若樁作業所の支援を受けて準備に奔走する。  
 ・作業所の場所探し  
 ・開設に向けて 協力金1,000円をあつめる。
- 12 ・呉市阿賀中央7丁目5-42松野アパート内に開設。  
 ・家族指導員として川原富子さんと家族会「つばき会」会員の有志で運営にあたる。  
 ・名称を「ひかり作業所」と決定する。  
 ・広青年教育センターにおいて 来賓及び作業所関係者70名でひかり作業所開所記念式典をおこなう。  
 ・(株)全珍の珍味のいかの串刺し作業開始(加工賃1本30銭)  
 作業日 毎週 月木土 AM10:00~PM16:00



民間アパートの一室が  
作業所兼憩いの場



全珍 イカの串刺し作業

# 1995

平成7年

- 1995 4 ・作業日 毎週 月火木土の4日となる。通所者8名となる。  
・精神障害者就労促進事業補助金の適応を受ける。
- 5 ・市より在宅精神障害者共同作業所通所者交通費助成金が受けられるようになる。(料金の半額)
- 7 ・市内の小規模作業所連絡協議会でふれあいコンサートを企画, 実行委員会の準備にとりかかる。
- 9 ・作業所指導員として一名採用し 作業日週5日に変更する。  
・若樫作業所と合同で作業所見学アンダンテのぞみを訪問する。
- 12 ・第1回ふれあいコンサート参加



第11回ふれあいコンサート

呉市の障害を持つ仲間たちが通う、施設・作業所がひとつとなり  
元気な歌声を届けました。

毎年12月には障害者の日記念行事として取り組んでいます。





# 1996

平成8年

- 1996 3 ・若樁作業所と合同 山陰一泊旅行，まるベリー工房見学をする。
- 10 ・作業所指導員二名体制となる。
- ・若樁作業所と合同バス旅行 ドイツの森へ。
- 12 ・就労促進事業所の運営の安定化を図る目的で奨励金20万円の助成を受ける。
- ・第2回ふれあいコンサート参加



出雲大社にて

ひかり作業所として  
初めての旅行が出雲でした。  
若樁作業所と合同で  
楽しい一泊旅行となりました。



ドイツの森にて



# 1997

## 平成9年

- 1997 3 ・若椿作業所合同 吉田町清風会施設見学  
 5 ・(株) 井川製作所の内職作業を開始  
 7 ・呉市中通1丁目2-31ふれあい会館内へ移転  
 ・作業所指導員三名体制となる。  
 8 ・ひかり通信毎月発行  
 9 ・クリニックほほえみ呉の駐車場の清掃作業の所外作業にとりくむ。  
 ・国立呉病院内清掃作業（3時間）希望者がローテーションを組み週6日作業に入る。  
 補助指導員1名清掃作業部門のスタッフとして勤務する。  
 ・バス旅行 倉敷チボリ公園美観地区へ。  
 12 ・第3回ふれあいコンサート参加  
 ・ふれあい会館内交流餅つき大会を行う。



倉敷美観地区にて



倉敷チボリ公園



ふれあい会館内の3つの作業所で  
 合同もちつき大会。  
 つきたてのお餅を  
 おなかいっぱい食べました。



あつい日も寒い日も、  
 ほほえみの駐車場の清掃作業  
 頑張ってます。



# 1998

平成10年

- 1998
- 1 ・ 軽貨物自動車購入
  - 3 ・ 施設見学 瑠璃の屋形を訪問 平山郁夫美術館を拝観。
  - 8 ・ ボランティアさんによる月1回孔版画, ステンシル, 絵手紙などの指導を受ける。
    - ・ 呉市内の作業所, 施設が協力し栄町商店街の空き店舗をかりて2ヶ月間ふれあいショップをオープン。当番で自主製品の販売にあたる。
  - 10 ・ 若椿作業所合同バス旅行 広島ニュージーランド村へ。
  - 12 ・ 第4回ふれあいコンサート参加



月1回ボランティアさんの指導で  
年賀状・暑中見舞ハガキづくりなど、  
手づくりの楽しさを体験。



今は亡き、奥原香先生の孔版画の指導

作業所の軽貨物自動車



# 1999

## 平成11年

- 1999 3 ・小規模作業所活動活性化事業の国庫補助金でパソコンを購入。  
 ・若椿作業所合同バス旅行 因島フラワーセンターへ。  
 8 ・家族、メンバーを対象に学習会（5回）を開催する。  
 10 ・バス旅行 チチヤス工場見学～広島現代美術館へ。  
 12 ・第5回ふれあいコンサート参加



調理実習風景



栄養指導を受けました。



お父さんの、  
 なかなかの  
 包丁さばきに  
 メンバーさんも  
 負けじと頑張りました。

パレアモアから  
 講師として、笹田先生を  
 迎えて!!



広島現代美術館にて